

指導者に贈る

# 心理

カウンセリング

高畑 信一

## はじめに

仕事をしている時、知人と飲食をしている時、ひとりくつろいでいる時、心と言葉が頭に浮かぶことがある。それは人間関係を語るものもあり、職場で生きるものもあり、たわいのないものもあり、実に様々だ。そのような言葉を思いつくままに書き留めてきた。私としては、日記代わりと言えるものだ。

論語や格言といった形式張ったものではないが、知人に見せると、自分でも意識していなかった意見が返ってくる。読む人によって色々な解釈があるものだと感心させられた。そこで今回、人生の愉しみを深める上で私の言葉が役に立つものとなるならばと、書き綴ったものを一冊の本にまとめてみた。

一つひとつの言葉に私なりの思いはあるが、それを押し付けることのないよう、あえて解説は添えないこととした。自由に言葉を感じ人生の糧としてもらえれば幸いである。

2011年初夏 高畑 信一

指導者に贈る

心理

カウンセリング

高畑 信一

1. 絶望さえしなければ神は次の舞台を用意する
2. 進むも危険、引くのもまた危険、しかももっとも危険は止まっている時
3. 困難な仕事はもっとも使いにくい部下が解決する
4. 戦い多くて才人生まれ、戦い終わって凡人栄え、社会が栄えて才人打たれる
5. 一人の害は十人の善を制してしまう
6. 社長が改革に乗り出すと、社員は保身に走る
7. 商品は良いものをより安く買うこと利あり、人は能力をより高く買うことに利あり
8. 悪い水で魚は育たず、悪い環境で人は育たず
9. 社会は不幸な人の上に幸福な人が乗っている
10. 役職多くて社員仕事にならず
11. 一つの規則は、一人でも万人を制することが出来る
12. 自分のやりたかったことは、やれない年齢になったら気が付く
13. 恥は忘れる以外に方法がない

14. 富を自慢するものの人格は、その富を超える事はない
15. 天才は常に戦いで勝つのではなく、常に戦いに備える事の出来る人
16. 成功と失敗の二つの道があるわけではない、渡る道はすべてが同じで歩き方が違うだけ
17. 生活の苦しみは仕事によって逃れられるが、仕事の苦しみは生活が豊かになるほど辛くなる
18. 共通な敵を持つ友と力を合わせてその敵を倒したとしても、次はその友が敵になるだけ
19. 部下の生活を疲弊させると、社長の威厳は地に落ちる
20. 儲け話が自分に来たときは、すでに自分は損をして他人が利益を得るときである
21. 不用意に利に近づかず、不用意に不利益に近づかず
22. 隠さなくて良い話は人には知れないが、内緒の話は良く知れる
23. 過激な戦いで勝ち得たメリットは、のちに来るデメリットの対応に苦慮しなければならない
24. 人の問題に首を突っ込むと、自分も同じ境遇に入り込む
25. 良好な結果が続いていれば、他人の意見は耳に入らず

26. 自分の評価を高く見る人は、他人の評価は低く見る
27. 嘘も噂になればホントの事となる
28. 人生どんなに急いでも、自分の力を超えた場所に到達することは無い
29. 雄弁な言葉には嘘が隠れている
30. 良い行いは百行っても良い噂にならず、悪い行いは一つの行いで千里も走る
31. 早い事に勝る方法などない
32. 無知な人は自分が無知とは思わず、知的な人は自分が利口だとは思わない
33. 良いことが続くのは危険の兆候
34. 他人の心も分かりにくい、もっとわからないのは自分の心
35. どんなうまい話も、相手の心を耳で見る事など出来ない
36. 賞罰だけで動くものに良い結果など付いてこない
37. 人を使うのは、相手にどんな能力があるかではなく、自分にどんな利用価値があるかである
38. 人を褒めるなら嘘の方が有効かもしれない

39. 人の話は理解したつもりでも、実行をしてみると半分も理解していないものだ
40. 対人関係において、怒りや同情といった感情が入った時の結論は決して正しい判断ではない
41. リーダーの心に隙間があると、そこに部下の邪心が入り込む
42. 他人の蔭口には誰でも興味を示すが、言っている人が尊敬される事はない
43. 目的を達成するには、悪魔とも手を組まなければならない時がある
44. 豚もおだてりゃ木に登ると言うが、豚は決して高い木に登れるわけではない、褒めて人を伸ばすにも豚程度では限界がある
45. どんなに正しい方法も、相手に不利益であれば対立は避けられない
46. 努力なき豊かさと努力なき貧乏は、いずれも正しい生き方をしている様には見えない
47. 初めから言い訳を言ってくる人に、何の期待も持ってはならない
48. 好きなことへの挑戦は、どんな困難にも負ける事はない
49. すべてが正しい事にも弊害は起こる
50. 美味しいものだけでは体を壊し、楽な仕事だけでは自分を壊す

51. 良い発見は、もっとも悪い問題の中に隠れている
52. ゆるい規則は部下の心に悪魔が目覚め、きつい規則は部下の心に才気が目覚める
53. イエスマンは忠誠を誓っているかに見えるが、その保身のためには敵にでも誓いを立てる
54. 他人に無関心な人ほど、自分には関心を寄せて欲しがる
55. 危険を避けて通ることは、常に危険と向き合わなければならない行動をとっていることになる
56. 花の心知らずして花は咲かないし、人の心知らずして人は動かない
57. 人は仕事を選んだときから自由はなくなる
58. 無知なものは、多くを語らなければ無知とは分からない
59. 交渉において感情が出た時は、必ず時間をおくべし
60. 自分の器以上の事を達成しようとするれば、正しい方法だけでは達成しない
61. 他人は追い越しても、自分を追い越すことは出来ない
62. 小人は自分の保身のためなら、裏切をも正義とする

63. 収入だけで職を変えていたら、職を変えるたびに仕事はきつくなる
64. 凡人は、人生半ばにして努力を止める、成功やチャンスの与えられる人はすでに決まっているから
65. もっとも大事な案件が、もっとも平凡な結論で解決する事がある
66. 説教をするのは、相手の為に行っているわけではなく、自分の保身の為に行っている方が多い
67. 人の目は相手をよく観察できるようには作られているが、自分を観察出来るように作られている訳ではない
68. 物事を知るとはたやすいが、それを行うことは難しい
69. どんなに困難な問題も立ち向かえば何らかの結論は出るが、逃げ出してしまうとすべてのものを失う
70. 人は万物の授かりもので、右往左往と迷っていても結果は自ずと決まっている
71. 自慢話と説法を説く人ほど金離れは悪い
72. 人を戒めるには、言葉の意味を強く・感情はもたず・礼節に話す
73. 自分を解ってくれないと嘆く人がいるが、そういう人程本当の事を解ってもらわないほうが幸せなのかも知れない

74. 部下は上司を見て行動するので、部下を見れば自分が見えてくる
75. 運が付いてこなければ、容易に大きな目的など果たせるものではない
76. 友達とは、自分が友と思った人物とは別物で、困ったときに意外な人が現れ、友達と思われる人が意外に去っていくものだ
77. 鳥は美味しい餌に群がるが、人は良い会社に群がる
78. 恨まれてもその人を助けると、永遠の友となる
79. 物欲多くてひと騙される
80. 人とは自分には不釣り合い以上のお金を持ってしまうと、すべての戦いを放棄する
81. 人と人の才能の差は小さいが、努力をする差は無限大にある
82. 才知なくて名声を欲しがめるものは、自分の馬鹿さ加減を世間に知らせる様なもの
83. 内密な話は、その話に興味を示さなければ話したがる
84. 人を可愛がらなければ、裏切られたとしても裏切りとは思わない
85. 世の中・いつも災いありとしていれば、突如な災いにも不幸とは思わないで済む

86. 小さな事に気を配れる人は、大きなことでも大騒ぎなどはしない
87. 仕事は出来ればできる人ほど、仕事の量とリスクの数は増えていく
88. 人は頂点に立つと過去の教訓を忘れ、いずれはその代償を払わなければならない
89. 利より理念を優先すれば、利などは後から付いてくる
90. 他人の過ちを楽しむものは、自分の過ちには気が付かない
91. 男に惚れるは性格に、女に惚れるは美に、美より性格の方が飽きはこない
92. ご都合主義では、自分の威厳を守ることは出来ない
93. 大多数の人が間違いだと思われることを実行しても、必ずしも結果が悪くなる訳ではない
94. 金は正攻法で人をだます手段に使える
95. 真面目に仕事をする事は、定期預金のようなものでいずれ満期が来るものだ
96. 指導する立場になれば、ブルータスや明智光秀がいる事を忘れてはならない
97. 人はあらゆる問題から逃れることは出来ないが、問題のあることをすべて避けて通ればそれが問題となる
98. 欲がなければ、生きていくのはそんなに困難な問題ではない

99. 過ちは永遠に残るが、業績はいずれ消えて無くなる
  
100. 争いが始まる原因は些細なことでも、噂になれば問題は収まらない
  
101. 仕事には短・中・長があつて、三日・三月・三年で出来ないものに、なんの期待も出来ない
  
102. 自分の取っている行動は、他人がその運命を決定する
  
103. 人は信じても・疑っても、後で後悔しなければならないリスクはついて回る
  
104. 弁解はすればするほど、認めたとされる
  
105. 金の量と幸福感の大きさは、危険なリスクと比例する
  
106. 自分は必ずしも正しい事ばかりではないと思っていなければ、自分を変えて行くことが出来ない
  
107. 自分にとって、相手が不利益であれば理由に限らず悪人で、どんな理由であっても相手が有益であれば善人になる
  
108. 問題が山積するのは、自分の行動に問題と呼ぶ性格がある
  
109. 高い山も高い地位も、登れば登るほど危険な場所となる

110. すべての人は何らかの能力を持っているが、努力をして能力を引き出そうとする人は、それほど居るわけではない
111. 小さな問題に、大きな対策を立てると大きな問題に変わる
112. 戦場でも社会においても命がけで戦えば、弾にさえ当たらなければ英雄となる
113. 一度の成功しか経験のない人は、二度目も同じ方法で成功すると信じている
114. 説得力とは、他人の知らないことに言及することである
115. 体罰をする人は、言葉で人を戒める事の出来ない人
116. かつこうが良ければ地位も名誉も、一ランク上になり、かつこうが悪ければ地位も名誉も地に落ちる
117. 苦しみから逃げると、新たな苦しみの発生源となる
118. 他人の良し・悪しはよく見えるものだが、自分の事は鏡で見る程度のことしか理解していない
119. 欲に走れば志は遠くなる
120. 石橋は誰でも渡るので、チャンスのある所ではない
121. 悩みの量は、能力の足りない量に比例する

122. すべての問題の解決は欲をどう捨てるかにある

123. 自分の仕事は汚れ役と割り切っている、その行動が過酷なものであれば、どんな理由があつたとしてもその汚れは一生消えるものではない

124. 失敗しないことは何の行動をも起こさないことではなく、失敗しないために何をするかが分かれば成功にも導かれる

125. 他人から得た幸せは、いずれ奪い取られる

126. 無知な人は自分の無知に悩むことはないが、知恵があるほど無知の悩みは絶えない

127. 人は何が良いかは分かっているが、何をするべきかを分かっている

128. すべてに正しく生きていく事は、大きな矛盾と向き合わなければならない

129. 科学の進歩はめざましいが、人の理性は科学を超えたことがない

130. 使われる側の人間に人の人選をさせると、自分より優れた人材は採用しないが、オーナーの人選は自分より優れた人材を選ぶ

131. むやみに利を増やすより、害になるものを除くことがホントの利益

132. 他人の評価を気にしては自分の力は発揮できない、評価は自分ですれば他人は気にならない

133. 自分が正しいと思い込んでいる人は、相手の話を聞き入れない
134. 与えられた権限は組織の為に使うもので、自分の為に使ってはその地位を失ってしまう
135. ポリシーにこだわると、レールに乗った列車のように同じ場所にしか到達出来ない
136. 結果報告が遅れているのは、言い訳を考えている最中
137. 飴と鞭は、どちらも量が問題
138. とても正しい判断だとは思われないことが、良い結果をもたらすことが多々あるものだ
139. 毎朝朝礼をして訓示をすることは、自分の能力を公表しているようなもの
140. 特別な報酬を与えないのに懸命に働く人の真意は別の所にあるので、それを戦力と当てにすると裏切りに合う
141. どんなに良い制度を作っても、自分に都合の良い制度は機能的な効果は発揮出ない
142. 一度の良い結果だけで氣勢を張るものは、ただ偶然に起こった成果に過ぎず後は続かない
143. 仕事が好きになれば困難なことではない
144. 会社が困難な状況になって初めて個性のあるものが頭角を現す

145. ライバルを倒すのは、まず身内の裏切り者を探すにあり
146. 困難なことはチャンスに変わる要素がある
147. ゴルフのシングルを達成するほど努力をするなら、仕事などそれほど難しいものではない
148. 企業家は困難な問題に対処するときは、開業のことを振り返れば大きな問題ではない
149. 才能と能力を兼ね備えていても、会社が必要としない能力では職を変えるのが選択である
150. 利益は相手に与えて得られるもの
151. 肩書きは服装のようなもの、似合っていないければその肩書きは釣り合わない
152. 人を特別扱いすると、その人の意に反する事が出来なくなる
153. 不幸が無ければ幸福はやってこない
154. 一つの問題を放置すれば複数の問題に発展し、その問題が去ることは複数の問題も去る
155. 簡単なことだと思ふことほど困難なことがある
156. 知識を得るのは難しいことではないが、その知識を使って大成するかは別問題

157. 法律が社会秩序を保つより、常識が社会秩序を保っている
158. 犬より忠実な人間はいない
159. 自分だけ良いと思っても、他人が良いと思わなければどこかに間違いがある
160. 忙しそうに見えても必ずとも結果が出ているとは限らない
161. 相手にとって真実だけを伝えないほうが、正しい方向に向かわせる事もある
162. 感情での訴えは、すべてが身の保身
163. 自分は間違いを起こしていないと思うものは、相手の真実を間違ったものと誤解する
164. 相手に弱みを突かれたときに急いで反論すると、それを認めたものと思われる
165. 解っている話も知らないこととして聞けば、相手に優越感を与える
166. 無能であることはどんな努力によっても回避できるものではない
167. 自己保身をしなければならない時には、だれかを生贄にする必要に迫られる
168. 安全な投資だと誘われた時から、危険な道への一歩となる
169. 運なのか実力なのか解らない勝利の時は、次の戦いに挑んではいけない

170. 指導力が発揮できる立場になったことと、指導力があることとは大いに違う
171. 利害が一致した時から敵は味方となる
172. 賞状ではメシは食えず、人はまずお金あっての名誉の価値がある
173. 行動力には、運と困難が混在してやってくる、運をうまく拾えば困難は去っていく
174. やりたがり屋にやれたためしはない、なぜならどんな問題もやれないことが数多く山積していることを理解していない
175. 勤め先から受ける報酬は数ある働きの一部にすぎない、後の働きは何かの時の保険になる
176. 自分のしていることを、常に疑問を持たなければ正しい方向には向かわない
177. 経験と勘だけでの成功では限界があり、大きく飛躍するには学問が大きな役割を果たす
178. どんな制度も考えた人に有益に働けば、不利益な人には効果的な働きは起きない
179. 一つの問題は二つ以上の問題が発生する要因がある、問題は一つのとときに食い止めなければ解決が困難な状況へと発展する
180. 人を褒める人は、自分の立場のほうが上だと言っている様なもの
181. 人を可愛がれば憎しみも倍増する

182. あまり良く働く人間は犬のように忠誠を誓っている訳ではない、最後は飼い主をかみ殺す
183. 出世を急ぐなら悪魔とも契約しなければならない、なぜなら罪・無くして目的を達成することなどない
184. 感動も情熱も酒と同じですぐに冷めてしまう
185. 敵だと思えば敵になり、味方と思えば味方になる、考え方一つで味方は増える
186. ミスは防ぐことの出来ないものだが、同じミスは防ぐことは出来る
187. 権限とは、発言と行動が相反しない人にだけに与えられる
188. 役職は、自分の名前が役職にならないければ本物とは言えない
189. 人が忠誠をするのは、相手と家族を良く知ることにある
190. 人は自分の身を守るためなら、どんな正義も言い訳も作り出す
191. 運での勝利か真の勝利かを理解しないと、次の勝利は勝ち取れない
192. 悩みが増える事は、解決出来る能力がないことと比例しているのが原因である
193. 結果だけでモノ申す人に、新たに結果を出せる理論は持ち合わせてはいない

194. 利を増やすことは、害の除くことで得られる
195. 自分の能力以上の事を求める事は不正しか得られない
196. 自分の利を優先するより他人の利を優先しなければホントの利は得られない
197. 欲が無ければ他人の不幸も解る
198. 何人も何をすべきか分かっているにも、実行に移すべきなのは理解しない
199. 日本の選挙システムでは、有能な人物を選ぶシステムにはなっていない
200. 目的は、進めれば進めるほど規模と問題は大きくなる

## あとがき

「名言」ではなく「迷言」とならぬよう、十分に吟味しながら何とか一冊にまとめてはみたものの、私のメモには本からこぼれ落ちた言葉が、まだ数多く残っている。満足してもらえるものとなったかと考えると心許ない気もする。

以前は理解できなかった言葉に、ある日急に共感を覚えることもあるように、人の感性は、年齢と比例して積み重なる経験によって磨かれていく。理解が深まったということは、人間的な成長があったということだ。また、その時に置かれた状況によって初めて理解できる言葉もある。だからこの本は、手元に留め置き、気が向いた時に、いつでも何度でも気軽に開いてもらいたい。その度に新しい発見があると思うからだ。

私の言葉にお付き合いいただいた皆様に、心から感謝の意を捧げる。皆様が幸多き人生を送られることを願いたい。

高畑 信一

## ◆作者プロフィール

高畑信一

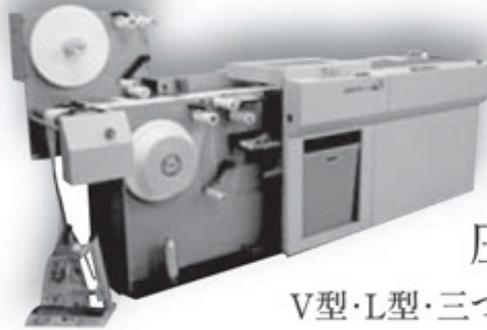
株式会社旭川ビジネス 代表取締役

北海道鷹栖町出身。学校卒業後、製版会社・印刷会社を経て昭和62年にビジネスフォーム印刷を核に独立。平成10年に札幌に進出。北海道全域で営業展開。フォーム印刷・シール印刷・圧着はがきを主にした総合印刷業。趣味はゴルフ。

New Possibility  
新たな可能性へ

### データ入力機

最大17インチまで印字可能。  
可変データはもちろん、  
親子ナンバーまで対応。



### 圧着シーラー機

V型・L型・三つ折り・往復ハガキ等  
様々なタイプに対応、型抜き加工も可能。



### 印刷機(データ入力機搭載)

バリエアブルで様々なインチサイズに対応。  
幅広いニーズにお応えいたします。  
幅10cm以内なら、印刷と同時に可変データ入力も可能。

 株式会社旭川ビジネス

<http://asahikawa-bs.com>

# 指導者に贈る 心理カウンセリング

---

2011年7月10日 第1版

---

著 者 高畑 信一

発行者 田村 禎三郎

発行所 株式会社 総北海

〒078-8272 北海道旭川市工業団地 2条1丁目1-23

TEL0166-36-5556 <http://www.sohokkai.co.jp>

---

落丁本・乱丁本はおとりかえいたします。

©Takahata Shinichi Printed in Japan

ISBN978-4-915478-78-9

---